

地域との“絆”を強め更なる発展を目指して

～東通村地区総代連合会創立10周年記念式典～

1月29日(日)、入口かしわの館(入口)を会場に、東通村地区総代連合会創立10周年記念式典が開催されました。

同会は、村内29集落の代表が親睦と融和をはかり、村民の文化的・経済的生活の向上を目指して、平成13年12月に設立されたもので、その活動は文化財保護と継承活動の支援、植樹等の自然愛護活動、冠婚葬祭の簡素化の推進、嫁不足解消のためのふれあい支援事業など多岐にわたり、地域の発展に貢献されてきました。

式では、主催者である吉田昭美会長(入口地区総代)より「東通村は広く点在する29集落によって構成されており、各集落の代表が親睦と融和をはかり、様々な活動を展開して参りました。今後とも会員は勿論のこと、村当局関係団体と連携し、強く絆を深め、本会の発展のために努めて参ります」と式辞が述べられ、続いて、同会の設立や活動にご協力いただいた奥島貞一

氏、三國慶太郎氏、三國俊美氏の3名に感謝状が贈呈されました。

その後、越善靖夫村長より「総代連合会の皆様には、日頃より人口定住促進、環境対策などの施策に対して特段のご支援を賜り、改めて敬意を表します。本日10周年記念式典が一つの区切りとなり、連合会の益々の

発展と、皆様の更なるご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます」と祝辞が述べられました。

式典終了後は、引き続き祝賀会が行われ、出席者の皆さんは、地域間の情報交換や10年間の活動の思い出などを語り合いました。また、入口児童館・入口地区子ども会によるアトラクションが始まると大きな声援や拍

手を送り、笑顔の絶えない祝賀会となりました。

この度は東通村地区総代連合会の創設10周年、大変おめでとうございます。



祝辞を述べる越善村長



式辞を述べる吉田会長



関係団体等から多数の方々が出席し創立10周年を祝いました



入口児童館・入口地区子ども会によるアトラクション